

情報教育の実践

守谷市立御所ヶ丘小学校

1 情報スキルに関する取組

本校では守谷市小中一貫情報教育指導計画をパウチしたものを全職員に配付し、各学年の指導事項を意識しながら学習を進めている。各教科・総合的な学習・道徳の時間においてコンピュータや電子黒板、書画カメラ、デジタルカメラを活用した学習を行い、各学年で身に付けさせたいスキルの定着を図っている。また、本年度はタブレットが導入されたため職員間で操作方法や活用方法を研修し、授業での活用が始まっている。

低学年においては、お絵かきソフトで絵を描いたりかな入力をしたりして基本的な操作が行えるようになっている。中学年はローマ字入力の仕方を覚えたり、インターネットを使つての調べ学習を行ったりしている。高学年の児童は、調べたことをプレゼンテーションソフトを活用してまとめたり、電子黒板で発表したりすることができるようになっている。

2 情報モラルに関する取組

各学級、学年において、総合的な学習や道徳の時間に情報モラルの指導を行ってきた。低学年では、コンピュータ室やコンピュータの利用の約束を確認した。中学年では、相手の立場や気持ちを考えた行動の仕方を、高学年では、他人や社会への影響を考えたネット利用の仕方を確認した。

また、1学期末と2学期末の授業公開日に保護者対象の研修会を開き、携帯電話やタブレット端末でのトラブルや危険性について理解してもらえるようにした。



保護者対象研修会

3 学校独自の取組

(1) コンピュータ・タブレット端末の活用

- ・プレゼンテーションソフトを使った既習事項の確認・課題の提示・モデルの提示
- ・プレゼンテーションソフトを使った意見交換・電子黒板を使った話し合い
- ・タブレット端末の録画機能を使った鉄棒運動やマット運動、跳び箱運動の技の確認
- ・タブレット端末の録画機能を使った図工作品の鑑賞



意見交換

(2) 安心・安全なインターネット利用啓発ポスターへの応募

情報モラルについての学習後にポスター作りを行い、県のポスター展に応募をした。ポスターの下絵やスローガンは、保護者と共に家庭学習で考えるようにし、保護者への啓発も行った。

(3) 安心・安全なインターネット利用講習会

進学・進級を前に、高学年児童対象にインターネット講習会を行う。外部講師を招いて、よりよいコミュニケーションの仕方を学ぶ予定となっている。



話し合い

4 成果と課題

児童はコンピュータを活用した学習にとっても意欲的に取り組んでいて、コンピュータ操作のスキルもだいぶ上達している。職員が小中一貫の指導計画を意識し先を見通した指導を行えたことは、スキル面でもモラル面でも成果が上がったと言える。今後は、タブレット端末や電子黒板の効果的な活用法を職員一人一人が見出し、情報交換をしていく必要がある。情報モラル教育にも重きを置いて、道徳などに関連させながら指導にあたっていきたい。



タブレット操作